

令和 5 年 度

事 業 報 告 書

社会福祉法人嬉野町社会事業助成会

目 次

1. 総括	2
2. 事業方針の実績	2～4
3. 部門別の実績	5
3. 1 総務部	5～
3. 1. 1 総務課	5
3. 1. 2 ケアハウス	5～6
3. 2 施設サービス	6～
3. 2. 1 特養・ショートステイ	6～8
3. 3 在宅サービス	8～
3. 3. 1 居宅介護支援事業	8
3. 3. 2 通所介護事業（デイサービス）	9～10
3. 4 嬉野市受託事業	11～
3. 4. 1 いきがいデイサービス事業（湯っくらと）	11
3. 4. 2 在宅介護支援センター	11
3. 5 嬉野西部地域包括支援センター	12
4. 共通	13～
(1) 年間行事	13
(2) 理事会・評議員会議事	14
(3) 施設内会議・第三者参加委員会	15
(4) 施設内委員会	16
(5) 施設外委員会	17
(6) 職員研修会（職場内）	18
(7) 職員研修会（職場外）	19～21
(8) 実習等の受入れ	22
(9) ボランティア・訪問等	22
(10) 介護事故・ヒヤリ・ハットの発生状況	23
(11) 労働災害状況	24
(12) 苦情・意見の状況	24～25

1. 総括

事業の収支状況については、令和4年度と比較し赤字の幅は減少したものの物価高騰の影響等により、未だ厳しい状況であった。しかし、ショートステイの定床化により特養定員を増員し増収を図れたことは評価できたと考える。

施設整備としては、計画通り温冷配膳車の入替えやトイレの改修を施工することができた。

職員の処遇改善としては、バースディ休暇を導入したが、取得率も高く好評であった。また、給与体系の見直しを行い、令和6年4月からの給与水準引上げに繋げることができた。

新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、利用者には、敬老会の開催や家族会主催のレクリエーション(ボッチャ)大会で家族と一緒に楽しんでいただくことができた。

2. 事業方針（重点的取組）の実績

(1) 経営状態の改善

① 入所調整、利用調整の強化

経営会議や部長会議、部所会議などで稼働状況の検証を行った。各事業所では稼働改善会議を開催して稼働、経営の改善に取り組んだ。特養では入退所調整の課題を改善し、空床期間の短縮を図ったことで稼働率が向上した。一方、在宅系では特に通所介護で利用者確保が難しく、併設通所介護事業所は目標を大きく下回った。次年度にはこの現状を改善するため、運営の協議、検討を更に進めていく。

② 事業内容の検討、見直し

特養では7月からショートステイ定床化にて4床増床した。さらに、次期の定床化も検討していきたい。在宅系では、通所介護事業がここ数年、目標稼働に届かず厳しい状況となっている。次年度は定期的な検証や評価を行い、事業運営の方向性を決めていく。

指定管理の「湯っくら」と受託事業の「嬉野西部地域包括支援センター」については、協議や検討の結果、更新申請を行い受託が決定した。

③ 経費節減の検討、実践

物価高騰の影響は大きかった。特に食材料費が増加した。そのような状況下でもオムツ類の発注管理、種類等の見直しや業者の検討を行うことで経費削減に努めた。

(2) サービスの質の向上

① 信頼関係作りの強化

法人全体では、苦情0件、意見や要望は5件受け付けた。内容は接遇、介護内容、車両運転に関するものだった。これらの改善に向けて、徹底した協議や検討を行い、その結果として適切なサービス提供をすることができた。

また、感染対策を継続しながら、行事や面会などに工夫を凝らし、利用者や家族との関係性を築いてきた。次年度も感染予防と両立させながら、良好な関係性を構築できるよう努めていく。

② 安全な介護への取り組み

走行式移乗リフトを導入し、現場で使用した。今後、安全な介護を目指すための抱え上げない介護の方法として推進していく。また、必要性の高い他の介護機器については、次年度に検討し、導入を進めていきたい。

B C P（事業継続計画）を整備した。次年度は職員に周知し、かつ、訓練を通じて運用を進めていく。

③ 科学的介護推進のための LIFE の取り組み

加算取得まで準備を進めることができなかった。次年度に取り組みを継続していくが、基本介護計画の実績評価を行ったうえで取り組んでいく。

(3) 人材育成と人材確保

① キャリアアップに活かす人事考課制度の再構築

人事考課の精度を上げるために考課者訓練を2回実施した。公正かつ適正な評価につなげるために、今後も訓練を行う必要があると考える。

また、人材確保および定着のための給与改定を検討し、令和6年4月から給与を引上げることができた。

② OFF-JT（職場外研修）および OJT（職場内訓練）の充実

中級職員5名に研修を実施した。中級としての役割やコミュニケーション方法を学ぶことができた。しかし、研修内容が業務や問題解決等に活かされているかの検証が十分できなかったことは反省である。

③ 法人・事業所の PR 強化

合同企業説明会に積極的に参加した。法人の PR 動画や事業内容のパワーポイントを参加者に合わせて作成し、PR 強化に努めた。

(4) 職場環境の改善と働き方改革の定着

① 働き方改革の継続および検討

福利厚生の充実としてバースディ休暇の導入、置き型社食の設置を行い、好評であった。また、衛生委員会にてハラスメント防止研修やアンケートを実施した。時間外労働や業務負担を軽減するための業務改善を継続的に行うとともに、相談体制の強化を図ることで働きやすい環境の整備に努めていく。

② 労災ゼロの検証、実践

2件の労災申請の案件が発生した。両方とも1ヶ月程度の休業が必要となるものであり、事故発生時の検証・対策の検討を行い、再発防止に努めた。

③ 職員健康増進の検討

健康診断後の再検者への受診の促し及び保健指導を積極的に取り入れ、健康管理に努めた。しかし、職場全体での健康増進の取組みはできなかった。次年度、衛生委員会や親交会と協力して取り組んでいきたい。

(5) 地域貢献および地域における公益的取り組み

① 地域貢献活動の検討、実施

新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、実習に関しては積極的に受入れを行った。また、地域貢献活動として介護者教室開催や地域コミュニティ活動への協力、地域の清掃活動等に取り組んだ。

② 低所得者への配慮

社会福祉法人軽減制度対象者としては、世代的に該当する人が少なくなっている現状があるが、必要性がある人の発掘等、社会福祉法人としての役割として継続して取り組んでいく。

③ 福祉の仕事の魅力発信

発信ツールとしてのホームページの更新が、定期的かつ効果的にできなかった。ホームページのシステム管理上刷新の必要性があり、次年度に検討していく。

(6) 施設設備

① 厨房機器の更新

温冷配膳車2台を3月に更新した。継続して適温かつ衛生的に食事提供ができています。

② 介護ロボット、デジタル機器等の導入

走行式移乗リフト1台を11月に導入した。使用頻度を拡大しながら定着を進めている。また、インカム、他機器は次年度に具体的な検討、導入を進めていく。

③ トイレ改修

デイサービストイレの修理、温水洗浄便座4台を設置した。次年度はデイサービストイレの男性用トイレ、特養棟居室の改修を予定。

3. 部門別の実績

3. 1 総務部

3. 1. 1 総務課

事業計画については、具体的な取り組みや意見交換が不足し、多くの目標が未達成となった。施設の窓口として、玄関先での在宅利用者の出迎えや見送りを重視していたが、窓越しでの挨拶にとどまった。利用者に快適に利用してもらい、さらに稼働を向上させるために、業務の工夫を行っていききたい。

経費削減については、節水業者の委託内容やオムツの在庫管理、品物の見直しを行い、経費削減ができた。しかし、価格高騰が続いており、更なる検討や見直しをして行きたい。

3. 1. 2 ケアハウス

(1) 利用実績 延べ数 5,199人 平均 14.2人 稼働率 94.6% (目標 96.6%)

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
計画	435	449	435	449	450	435	450	435	449	449	421	450	5,307
実績	450	450	449	465	443	420	434	415	401	433	407	432	5,199
計画比	15	1	14	16	-7	-15	-16	-20	-48	-16	-14	-18	-108
前年度	403	444	406	389	427	416	402	414	450	394	332	388	4,865
前年比	47	6	43	76	16	4	32	1	-49	39	75	44	334

(2) 入退居者の状況

(人)

年度	入居者	入所前	退所者	退所理由
5年度	3	在宅・病院	2	入院
4年度	2	在宅・老健	3	入院・施設入所
前年度比				

入居：3名（男性：1名 女性：2名） 退居：2名（男性：0名 女性：2名）

空床/空室期間 113日

(3) 取組と評価

今年度の稼働人数は14.2人であり、目標の14.5人に届かなかった。これは、入居の意向確認に時間を要したことや、長期入院者が3名いたことが主な要因である。入居をスムーズに行うために、8月に入居待機者調査を実施し、その結果を基に入居希望者の調査、入居順位決定会議、入居決定会議の手順に従って入居手続きを行った。今後も手順に沿って、入居対応を行うことで空床期間を短縮していきたい。

4月の人事異動で2名の職員が入れ替わった。入居者やその家族との信頼関係を築くため、積極的にコミュニケーションを図った。茶話会で意見交換を行い、ドライブやリクエストメニューの提供

等を行い大変喜ばれた。また、適宜、入居者の家族に状況報告を行った。しかし、家族から、職員の言葉遣いに関する意見や要望があった。これを受けて、職員間で話し合い、不適切と思われる言動について注意し合うよう努めた。

今年度は、県次世代部会の副幹事として委員会に出席した。他の施設での取り組みを参考にして、服薬管理の見直しや電気料金の改定等を検討し、職員間で他施設の情報共有ができた。

3. 2 施設サービス

3. 2. 1 特養・ショートステイ

(1) 利用実績

特養 延べ数 18,490 人 平均 50.5 人/日 稼働率 95.3% (目標 98.0%)

ショートステイ 延べ数 3,982 人 平均 10.9 人/日 稼働率 64.0% (目標 70.0%)

* () : 目標稼働 (人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
		特養	計画	1,470	1,519	1,470	1,643	1,643	1,590	1,643	1,590	1,643	1,643	1,537
実績	1,305		1,440	1,466	1,535	1,637	1,614	1,644	1,575	1,616	1,572	1,507	1,579	18,490
計画比	-165		-79	-4	-108	-6	24	1	-15	-27	-71	-30	-64	-544
前年度	1,470		1,489	1,465	1,523	1,479	1,415	1,484	1,440	1,457	1,485	1,315	1,360	17,382
前年比	-165		-49	1	12	158	199	160	135	159	87	192	219	1,108
SS	計画		420	434	420	434	434	420	434	420	434	434	406	434
	実績	377	317	340	280	283	230	283	346	415	352	351	408	3,982
	計画比	-43	-117	-80	-154	-151	-190	-151	-74	-19	-82	-55	-26	-1,142
	前年度	354	322	321	356	375	346	357	378	397	420	409	289	4,324
	前年比	23	-5	19	-76	-92	-116	-74	-32	18	-68	-58	119	-342

(2) 入退所者の状況

(人)

年度	入所者	入所前		退所者	退所理由	
		在宅 (SS・宅老所等含む)	医療機関他		死亡	長期入院等
5年度	22	21	1	12	10	2
4年度	12	10	2	19	19	0
前年度比	10	11	-1	-7	-9	2

入所：22名 (男性：3名 女性：19名) 退所：12名 (男性：0名 女性：12名)

空床/空室期間 632日

(3) 取組と評価

(相談課)

特養では、目標達成には至らなかった。しかし、7月から4床を定床化したことで、稼働率を上げることができた。今年度は22名の入所調整を行った。事前確認の方法や手順に関する課題を改善することで、年度後半には空床期間を短縮できた。

ショートステイでは、特養への入所が続き、特に定床化を行った7月から3ヶ月間は稼働率が大幅に減少した。8月に行った入所意向調査を基に、入所待機者やショートステイ利用者の獲得に向けて毎月協議を実施し、嬉野市外への営業活動も行った。これにより、ショートステイの稼働率も少しずつ改善された。

年度内に1回、施設内で新型コロナウイルス感染があったが、施設部内や法人内で協力して対応し、感染は大きく拡大することなく、1ヶ月半ほどで対応を終了した。感染対応中はショートステイの新規受け入れを中止したため、稼働率が減少した。

感染予防を継続しながらも、11月からはオンラインや窓越しでの面会を制限付きで実施し、室内アクリル板越しの面会に変更した。これにより、家族と利用者の対面でのコミュニケーションができるようになった。

(介護課)

年度途中で職員配置や体制の変更があり、多くの課題が残る1年だった。

利用者対応では、骨折を伴う重大事故が年間で8件発生した。そのうち6件は入院となり、稼働や保険対応等、経営への影響も大きかった。また、事故発生後の処理に遅れがあり、改善を要した。事故の背景には感染予防策による利用者の生活環境の制約や変更によるものがあった。次年度は環境面の変更を検討することにした。

勤務体制の見直しでは、新たな勤務シフトへの移行ができなかったが、感染対応期に一部施行したシフトを基に、次年度に実施計画を立てていく。

課題に対しては、職員間の連携、介護の基本や基礎を見直していくことで改善を図っていきたい。

(医務課)

体制上、業務の偏りがあったが、業務内容を可視化することで徐々に是正ができている。今後も職員一人ひとりの能力に応じた振り分けや、誰もが対応できるように業務の見直しが必要だと考える。

今年度も新型コロナウイルス感染症の発生があった。前回の感染から時間が経っており、初動の段階で戸惑いもあったが、拡大することなく対応することができた。感染症がゼロになることは考えにくいいため、日頃からスムーズに対応できるように訓練が必要と考える。新型コロナウイルス感染症が5類に分類され、ショートステイ受け入れや面会等については、その都度検討を行い、緩和することができた。継続して感染予防と啓発に努め、以前の生活に近い環境を作っていきたい。

今年度は褥瘡や皮膚状態異常者が多く見られた。これは普段のケア不足が原因と考えられる。また、不適切な対応も多く、利用者に不快な思いをさせることがあった。自分たちで考え行動できるよう、専門職として問題提起や助言を行い、より良いケアにつなげていきたい。

(栄養課)

課内全員で「嚥下調整食」について学び、作成に取り組んだ。令和4年度は1食1品の導入だったが、今年度は複数回、複数種類を導入し、利用者や家族から好評価を得ることができたことで、職員の一体感も生まれた。今後、更に工夫、改善し、経口での食事を楽しんでいただけるよう、職員一丸となってサービス提供に努めていきたい。

業務においては、長期の病気療養者や中途退職者もあり、不足状態での勤務だったが、栄養士と調理員がお互いの立場を尊重しながら支え合い、滞りなくサービス提供することができ、利用者から喜ばれる食事を作ることができた。感染時や災害時でも安定したサービス提供ができるよう、給食におけるBCP（事業継続計画）を作成した。今後、計画に沿って運用していく。

給食材料の仕入れについては、物価高騰の影響はあったが、利用予定と実人数をこまめに確認し、材料を調整することで、仕入れ費用の増加の抑制に努めた。

開設から使用してきた機材の故障も多く、安全な作業ができるように点検や情報共有に努めていく。

3.3 在宅サービス

3.3.1 居宅介護支援事業

(1) 利用実績 延べ数 2,467人 平均 206人/月 (目標 215人) (人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
計画	214	215	214	215	215	214	215	214	215	215	214	215	2,575
実績	209	201	207	202	205	203	212	203	205	207	205	208	2,467
計画比	-5	-14	-7	-13	-10	-11	-3	-11	-10	-8	-9	-7	-108
前年度	221	218	214	217	214	207	215	212	210	212	209	213	2,562
前年比	-12	-17	-7	-15	-9	-4	-3	-9	-5	-5	-4	-5	-95

(2) 取組と評価

行政や地域包括支援センター等と連携を図りながら積極的な受け入れに努めたが、施設入所や入院の長期化、逝去等が増加し、目標数を達成することはできなかった。

多様なニーズに対応しながら、適切なケアマネジメントの展開に努めた。法人内の事業所の紹介を行いながら、安定した事業運営ができるよう努めていきたい。

3. 3. 2 通所介護事業（デイサービス）

デイサービスうれしの

（1）利用実績 延べ数 4,009人 平均 12.8人/日 稼働率 64%（目標 81.0%）（人）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護	計画	361	380	361	380	380	361	380	361	380	380	346	380	4,450
	実績	271	310	333	308	307	306	305	298	305	316	289	294	3,642
	計画比	-90	-70	-28	-72	-73	-55	-75	-63	-75	-64	-57	-86	-808
	前年度	351	373	366	381	179	366	360	356	326	360	269	156	3,843
	前年比	-80	-63	-33	-73	128	-60	-55	-58	-21	-44	20	138	-201
予防・事業対象	計画	34	38	34	38	38	34	38	34	38	38	30	38	432
	実績	34	36	28	22	21	22	14	13	17	11	12	11	241
	計画比	0	-2	-6	-16	-17	-12	-24	-21	-21	-27	-18	-27	-191
	前年度	54	52	43	40	19	41	39	30	34	39	32	25	448
	前年比	-20	-16	-15	-18	2	-19	-25	-17	-17	-28	-20	-14	-207
自費	実績	19	22	12	12	7	6	7	8	7	8	9	9	126

（2）取組と評価

目標稼働数については、新規利用者数が年間で12名、また施設入所や逝去等により利用者数が増加せず、達成できなかった。稼働改善のために、個別レクリエーションの充実化や集団レクリエーション、ドライブを再開した。また、職員の労災が発生したことから、送迎や入浴等のカテゴリー別にケア方法の見直しを行い、サービス内容の充実を図った。

今後もケア方法や接遇の見直しを行い、目標稼働数の達成に努めていきたい。

春風荘

(1) 利用実績 延べ数 6,637 人 平均 21.3 人/日 稼働率 71% (目標 76.0%) (人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護	計画	430	450	430	450	450	430	450	430	450	450	405	450	5,275
	実績	398	424	414	421	424	460	463	435	448	416	400	420	5,123
	計画比	-32	-26	-16	-29	-26	30	13	5	-2	-34	-5	-30	-152
	前年度	438	429	410	407	520	434	457	440	325	362	396	526	5,144
	前年比	-40	-5	4	14	-96	26	6	-5	123	54	4	-106	-21
予防・事業対象	計画	125	125	125	125	125	125	125	125	125	125	120	125	1,495
	実績	91	101	107	88	104	93	90	98	77	73	74	82	1,078
	計画比	-34	-24	-18	-37	-21	-32	-35	-27	-48	-52	-46	-43	-417
	前年度	132	122	126	109	107	111	116	109	81	87	99	96	1,295
	前年比	-41	-21	-19	-21	-3	-18	-26	-11	-4	-14	-25	-14	-217
自費	実績	36	31	38	50	43	41	32	37	35	26	32	35	436

(2) 取組と評価

目標稼働数については、定期的に新規利用者の獲得ができたが、見込み以上に施設入所や逝去などが増加し、達成することができなかった。新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、レクリエーションの内容も集団レクリエーションやドライブを再開し、利用者を楽しみを持ってもらうことができた。接遇に関しては定期的に振り返りを行い、サービスの質を維持・向上することができた。今後もサービス提供に対する評価・修正を行いながら、目標稼働数の達成に努めていく。

次年度は事業所が創業30周年を迎える。設備、備品関係が老朽化しているため、定期的な保守点検や修繕等を行い、利用者に安全なサービス提供ができるよう努めていきたい。

3 4 嬉野市受託事業

3. 4. 1 いきがいデイサービス事業（湯っくらーと）

（1）利用実績 延べ数 1,829人 平均 7.2人 稼働率 60%（目標 70.8%）（人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
計画	170	196	187	178	179	178	187	187	170	170	178	179	2,159
実績	155	171	152	143	145	176	155	156	142	140	158	136	1,829
計画比	-15	-25	-35	-35	-34	-2	-32	-31	-28	-30	-20	-43	-330
前年度	95	94	136	140	159	155	165	164	139	138	173	200	1,758
前年比	60	77	16	3	-14	21	-10	-8	3	2	-15	-64	71

（2）取組と評価

今年度は、空調設備の故障が発生し、9月中旬から約3週間、利用者の熱中症予防として半日の利用とした。設備の老朽化もあり、今後も設備、備品の確認・管理を行っていく必要がある。

昼食提供においては、週に複数回の利用者が増加することで昼食内容が重複する場合があります、弁当配達業者を1社追加し、3社で昼食提供を行うこととした。今後も利用者のニーズに応え、サービスの質を向上させていきたい。

目標稼働数については、週に複数回の利用者の増加を見込んでいたが、介護保険サービスへの移行や入院等により利用者数が伸び悩んだ。今後も広報活動を継続し、行政と連携を図りながら新規利用者の獲得や複数回利用の促進を行っていく。

3. 4. 2 在宅介護支援センター

（1）利用実績

（人）

相談内容	5年度	4年度	増減
二次予防高齢者調査	0	0	0
湯っくらーと	0	0	0
配食サービス	0	0	0
介護手当	0	0	0
紙おむつ支給	13	12	1
介護保険関連	0	0	0
福祉サービス	0	0	0
その他	0	0	0
合計	13	12	1

（2）取組と評価

事業活動は、オムツ支給と配食相談が主であった。現在の物価高騰でオムツ支給は高齢者や家族にとって必要不可欠な助成事業となっている。また、配食に関しても、安否確認を含めた食事の確保につながっている。今後も介護の相談窓口として、関係機関と連携しながら、高齢者や家族の負担や不安を解消していきたい。

3. 5 嬉野西部地域包括支援センター

(1) 利用実績 延べ数 1,157人 平均 87.8人(月) (目標 95人) (人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
計画	95	95	95	95	95	95	95	95	95	95	95	95	1,140
実績	94	92	98	105	103	103	95	92	97	96	91	91	1,157
計画比	-1	-3	3	10	8	8	0	-3	2	1	-4	-4	17
前年度	99	92	91	87	85	85	90	87	83	79	84	91	1,053
前年比	-5	0	7	18	18	18	5	5	14	17	7	0	104

(2) 取組と評価

地域の高齢者相談窓口として、多様な相談に対応してきた。困難事例としては、重度認知症者の入院や施設入所の調整、精神的に疲弊している利用者家族の支援等があり、関係機関と連携しながら対応してきた。

11月と12月には、認知症カフェを主催した。また、認知症初期集中支援チームの会議や担当地区内の事業所の運営推進会議に参加し、積極的に役割を果たした。

次年度も引き続き、地域の高齢者相談窓口として、嬉野市内外の機関と連携しながら総合的な支援を提供していく。

4. 共通

(1) 年間行事

4月	入社式・辞令交付式 新人職員研修 人事制度目標設定 目標管理面談 永年勤続表彰	10月	インフルエンザワクチン接種(秋接種) 職階別研修(中級職員)
5月	令和4年度決算監事監査 定例理事会 夏期人事考課 床・カーペット清掃(通年で12回)	11月	冬期人事考課 人事制度評価委員会 苦情解決委員会 消防訓練(特養) 嬉野市企業合同説明会
6月	定時評議員会 臨時理事会 人事制度評価委員会 夏期賞与 ストレスチェック実施 資産総額登記 現況報告 苦情解決委員会 エアロシールド定期メンテナンス 高卒保護者向け企業説明会	12月	定例理事会 冬期賞与 内部監査(法令遵守) 業務用空気清浄加湿器設置(レンタル3台) エアロシールド定期メンテナンス 新型コロナワクチン接種(冬接種) 新卒者採用試験 高校生のための合同企業説明会
7月	新型コロナワクチン接種(春接種) 消防訓練(春風荘) 消防訓練(湯つくらーと) 特養家族会総会	1月	新卒者採用試験
8月	臨時理事会 職階別研修(中級職員) 消防訓練(特養)	2月	人事制度面接・目標評価 消防訓練(特養) 消防訓練(春風荘)
9月	職員健康診断 花火大会 敬老のお祝い	3月	定例理事会 人事制度評価委員会 人事異動内示 職員健康診断(夜勤従事者) 温冷配膳車入替(2台) 消防訓練(湯つくらーと) 合同企業説明会 特養家族会行事(ボッチャ大会)

(2) 理事会・評議員会 議事

開催日	会議・出席	議案
R5.5.27	定例理事会 理事 6名 監事 2名	第1号議案 令和4年度 社会福祉法人嬉野町社会事業助成会事業報告 第2号議案 令和4年度 社会福祉法人嬉野町社会事業助成会収支決算(案)について 第3号議案 事業運営について 第4号議案 理事・監事候補者の推薦について 第5号議案 苦情解決第三者委員選任について 第6号議案 定時評議員会招集について 第7号議案 諸規程の一部改正 【報告事項】 理事長の職務執行状況報告
R5.6.13	定時評議員会 評議員 7名 監事 1名	報告事項 令和4年度 社会福祉法人嬉野町社会事業助成会事業報告 議題 第1号議案 令和4年度 社会福祉法人嬉野町社会事業助成会収支決算について 第2号起案 理事・監事の選任について
R5.6.17	臨時理事会 理事 6名 監事 2名	第1号議案 理事長の選定について
R5.8.4	臨時理事会 *決議の省略 理事 6名 監事 2名	第1号議案 嬉野市いきいきデイサービスセンター「湯っくらーと」指定管理について
R5.12.23	定例理事会 理事 6名 監事 2名	第1号議案 令和5年度 社会福祉法人嬉野町社会事業助成会第1次補正予算(案)について 第2号議案 事業運営について 嬉野西部地域包括支援センターの指定更新について 【報告事項】 理事長の職務執行状況報告
R6.3.25	定例理事会 理事 6名 監事 2名	第1号議案 令和5年度 社会福祉法人嬉野町社会事業助成会最終補正予算(案)について 第2号議案 令和6年度 社会福祉法人嬉野町社会事業助成会事業計画及び当初予算(案)について 第3号議案 諸規程の一部改正について 【報告事項】 理事長の職務執行状況報告

(3) 施設内会議・第三者参加委員会

会議・委員会	主な内容	開催状況
経営会議 (理事長、施設長、事務長、 業務部長、各部長)	事業運営・経営状況報告 経営戦略協議 事業計画進捗状況確認	12回
部長会議 (事務長、業務部長、各部長)	経営会議指示事項等協議 経営戦略協議 事業計画進捗状況確認	24回
部所会議 (業務部長、各部長、主任、副主任)	事業運営・経営状況報告 事業計画進捗状況報告 各課の情報交換	12回
月次会議 (各事業所単位)	経営会議、部長会議、部所会議の報告 事業計画進捗状況確認 事業運営状況確認、協議	1回/月程度
入所検討委員会 (第三者委員3名(委員長含む)、 施設長、事務長、業務部長、施設部 長、医務課主任、相談課主任・相談 員)	待機、辞退、入所状況確認 指針に基づいて待機者を点数で評価し、 入所の可否を決定	13回
入居判定会議 (施設長、事務長、総務部長、ケアハ ウス主任、入居予定者と家族)	ケアハウス入居の判定	2回
家族会役員会 (家族会役員、施設長、事務長、 業務部長、施設部長、相談課)	家族会年間活動計画案協議 家族会総会準備 夏祭り、敬老会開催内容協議	4回
苦情解決委員会 (苦情解決責任者、苦情受付担当 者、第三者委員)	苦情発生状況の報告 意見・要望の報告 第三者委員よりの意見	2回
サービス担当者会議 (施設サービス部関係職員)	アセスメントとケアプランの周知 意見交換等	47回 *内2回は感染 予防のため書面
嬉野西部地域包括支援センター 運営委員会	事業内容報告および意見交換	1回

(4) 施設内委員会

委員会	主な活動	会議開催数
人材教育委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・職員研修会の企画・開催(オンライン動画等) ・介護支援専門員資格取得勉強会開催 	12回
感染対策委員会 (環境整備)	<ul style="list-style-type: none"> ・職場内感染報告、対策の啓発、周知 ・施設内点検、クлинデー実施 ・職員研修会の開催 	12回
事故対策委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・事故の状況把握、事例検討、防止策の指示および評価 ・職員研修会の開催 	12回
身体拘束廃止 高齢者虐待防止委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・月次報告 ・代替ケアの実践及び評価(身体拘束廃止) ・施設内ラウンド ・職員研修会開催 	12回
褥瘡予防対策委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・褥瘡予防対策の検討、実践および評価 ・職員研修会の開催 	47回
認知症ケア委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアル・チェックリスト見直し ・困難事例の検討 ・職員研修会の開催 	11回
防災対策委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・施設内設備等の点検、防災備品点検 ・消防訓練(3回) ・防火・防災研修会開催 	12回
地域貢献活動委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ動画作成・配信 ・ペットボトルキャップ・ベルマーク収集 ・クリーンアップ作戦(清掃活動)実施 	12回
ケア向上委員会 (抱え上げない介護)	<ul style="list-style-type: none"> ・リフト等の機器使用状況および評価 ・車椅子検討 ・職員アンケート 	12回
ケア向上委員会 (口腔ケア)	<ul style="list-style-type: none"> ・モデルケースの実践・評価 ・歯科医師による研修会(2回) ・物品等の検討 	11回 (7・8月合同)
夏祭り実行委員会	花火大会(鑑賞)のみ実施(9/29)	3回
敬老会実行委員会	祝舞披露、昼食会のみ実施(9/24)	6回
衛生委員会 (産業医、衛生管理者他、労働安全衛生法の規定による)	<ul style="list-style-type: none"> ・健康診断、ストレスチェック実施 ・安全防止計画の評価 ・年次有給休暇、長時間労働の管理 ・職員研修の開催 	12回
口腔内たん吸引等安全対策委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・吸引実施者の計画作成・実施・評価 ・フォローアップ研修 	11回 (7・8月合同開催)
職員親交会	行事は中止。(新型コロナ感染症予防)役員会のみ開催。	2回

(5) 施設外委員会

委員会 (出席者)	主な内容	開催数
危機管理委員会 (施設部長)	県老施協主催の委員会。特別養護老人ホームの施設長等で編成される。 ・リスク管理に関する意見交換 ・委員会主催研修会の検討	4回
デイサービス委員会 (在宅部長)	県老施協主催の委員会。デイサービスセンターの施設長等で編成される。 ・委員会主催研修会の検討 ・デイサービス運営の意見交換	4回
生活相談員連絡会 (特養・ケアハウス生活相談員)	県老施協主催の委員会。 ・勉強会や意見交換	4回
事務長・事務員連絡会 (事務長)	県老施協主催の委員会。特別養護老人ホーム等の事務長・事務員で編成される。 ・人事、処遇に関する意見交換	1回
地域ケア個別会議 (地域包括)	利用者の自立支援に向け事例検討会議	19回
のほほんネットワーク会議 (居宅・地域包括)	市内居宅介護支援事業所との情報交換、事例検討	11回
佐賀県介護支援専門員研修に係る演習指導 (居宅管理者)	実務者・未経験・再研修受講者への演習指導、ファシリテーター	5回
介護認定審査会 (業務部長)	合議体による介護認定審査	11回
養護老人ホーム入所判定委員会(施設長)	入所判定審査	3回
嬉野市地域福祉計画策定委員会(施設長)	計画策定について	3回
嬉野東部地域包括支援センター運営委員会(在宅部長)	事業内容報告および意見交換	1回
認知症初期支援チーム員会議 (地域包括)	医療、介護の検討、計画立案	2回
グループホーム・小規模多機能運営推進会議 (地域包括)	施設運営推進会議参加	9回
嬉野市在宅医療介護連携推進会議(地域包括)	医療介護連携推進のための研修会企画	1回

(6) 職員研修会（職場内）

月日		内容	講師	出席者 (書面)
4/13～5/1	オンライン	令和5年度事業方針および事業計画	施設長	全職員
5/19～6/2	オンライン	倫理と法令遵守、個人情報保護について	事務長	全職員
7/13～7/27	オンライン	感染予防・食中毒について	感染対策委員会	全職員
8/25～9/8	オンライン	褥瘡予防について	褥瘡予防対策委員会	全職員
8/28	オンライン	職階別研修（中級職員）	(有) イー・ニーズ	5名
9/14～9/28	オンライン	身体拘束廃止・高齢者虐待防止について	身体拘束廃止 高齢者虐待防止委員会	全職員
9/30～10/14	オンライン	事故対策について	事故対策委員会	全職員
10/10	オンライン	職階別研修（中級職員）	(有) イー・ニーズ	5名
10/30～11/14	オンライン	感染予防対策について	感染対策委員会	全職員
11/17～12/1	オンライン	防災対策について	防災対策委員会	全職員
11/30～12/15	オンライン	看取り介護について	施設サービス部	全職員
11/30～12/15	オンライン	接遇・マナーについて	人材教育委員会	全職員
12/27～1/12	オンライン	メンタルヘルスについて	衛生委員会	全職員
1/22～2/5	オンライン	身体拘束廃止・高齢者虐待防止について	身体拘束廃止 高齢者虐待防止委員会	全職員
2/1～2/10	オンライン	認知症ケアについて	認知症ケア委員会	全職員
3/5～3/15	書面配布	車両運転時の注意事項	安全運転管理者	全職員
3/18～3/29	オンライン	事故対策について	事故対策委員会	全職員

(7) 職員出張・研修（職場外）

月日	場 所	研 修 名	所 属	出席 数 (人)	役 職 名
4/12	動画配信	知らなかったではすまされない！個人情報イロハのい	特養	1	事務長
4/21	佐賀市	令和5年度保護者のための県内企業合同説明会事前オリエンテーション	特養	2	事務長 総務部長
4/25	佐賀市	令和5年度佐賀県介護支援専門員研修に係る演習指導者、ファシリテーター打合せ	居宅	1	主任介護支援専門員
5/10	オンライン	令和5年度 第1回通所介護部会	居宅	1	在宅部長
5/11	オンライン	令和5年度 第1回危機管理委員会	特養	1	施設部長
5/16	オンライン	令和5年度 第1回生活相談員連絡会合同ブロック会議	特養 ケア	2 1	相談課主任 ケアハウス主任
5/18	オンライン	感染管理について ～新型コロナウイルスの現状～	特養	1	看護職員
5/19	武雄市文化会館	令和5年度公正採用選考人権啓発推進研修会 令和6年3月卒業予定者を対象とする求人説明会	特養	1	事務長
5/29	佐賀新聞社	保護者のための県内企業合同説明会 配信用動画撮影	特養	2	事務長 総務部長
6/9	オンライン	相談したくなる職員を目指す相談スキル向上研修	特養 ケア	2	相談課主任 生活相談員
6/13	動画配信	認知症ケア ～寄り添うケアで笑顔増やしませんか～	特養 春風荘	2	介護職員
6/20	オンライン	中堅職員研修	特養	1	介護職員
6/22	小城市ドゥイング三日月	高齢者福祉施設等感染症対策研修会	特養	2	医務課主任 介護職員
6/25	佐賀アリーナ	令和5年度保護者のための県内企業合同説明会	特養	2	事務長 総務部長
6/29	オンライン	BCP(業務継続計画)研修	居宅	1	主任介護支援専門員
7/12	動画配信	口腔ケア ～たった週2回の航空ケアで命を守る～	特養	1	介護課副主任
7/6～	佐賀市	令和5年度佐賀県主任介護支援専門員研修	居宅	1	主任介護支援専門員
7/12～	佐賀市	令和5年度佐賀県主任介護支援専門員研修	居宅	1	主任介護支援専門員
8/1	オンライン	福祉事業所における感染対策強化研修	特養	2	介護課副主任 管理栄養士
8/3	オンライン	令和5年度 第2回通所介護部会	居宅	1	在宅部長

8/19	鹿島市交流プラザ	令和5年度在宅医療介護連携多職種協働研修会	居宅	1	介護支援専門員
8/30	オンライン	令和5年度第2回生活相談員連絡会合同ブロック会議	特養 ケア	2	相談課主任 ケアハウス主任
9/1	鹿島市エイブル	令和5年度企業トップクラス人権・同和問題研修会	特養	1	事務長
9/4	オンライン	令和5年度第2回危機管理委員会・研修会	特養	1	施設部長
9/13～	ガーデンテラス佐賀	介護支援専門員研修	特養 居宅	2	介護支援専門員
9/15	嬉野市リパティ	令和5年度安全運転管理者法定講習	ケア 春風荘	2	ケアハウス主任 春風荘主任
9/15	オンライン	消費税インボイス制度セミナー	特養	1	事務員
9/22	オンライン	ストレスマネジメント研修	特養	1	調理員(リーダー)
9/24	西九州大学健康支援センター	令和5年度福祉事業部第1回研修会	特養	2	栄養課主任 管理栄養士
10/6	動画配信	ハラスメント防止研修(リーダー向け)研修	特養	1	総務部長
10/11	メートプラザ佐賀	令和5年度施設主任等向け高齢者虐待防止研修	特養	1	相談課主任
10/19、 20	ヒルトン福岡シーホーク	令和5年度九州老人福祉施設職員研究大会	特養 デイ 居宅	5	事務員 調理員 介護職員 生活相談員 介護支援専門員
10/25	有田町福祉保健センター	事例検討におけるスーパーバイザー等派遣について	居宅	1	主任介護支援専門員
10/27	オンライン	新任職員フォローアップ研修～仕事を円滑に進めるために～	特養	1	管理栄養士
11/6	オンライン	特定給食施設栄養管理従事者研修会	特養	1	管理栄養士
11/8	オンライン	次世代部会・生活相談員連絡会研修会・合同ブロック会議	特養 ケア	2	相談課主任 ケアハウス主任
11/9	オンライン	第3回通所介護部会	居宅	1	在宅部長
11/10,11	嬉野市リパティ	嬉野市合同企業説明会	特養	3	事務長 業務部長 事務員
11/20,21	佐賀職業能力開発促進センター	障害者職業生活相談員資格認定講習	特養	1	業務部長
11/24	オンライン	現場に活かす「会計」と「人事制度」セミナー	特養	1	総務部長
11/27	オンライン	栄養士調理員連絡会	特養	1	栄養課主任

12/8	武雄市ケーブルワ ンスポーツパーク	高校生のための県内企業合同説明会	特養	2	事務長 総務部長
12/8	U-SPO	令和5年度要介護認定調査員現任研修会	居宅	4	在宅部長 居宅主任 介護支援専門員
12/15	佐賀県社会福祉会 館	令和5年度 第3回危機管理委員会	特養	1	施設部長
12/19	ガーデンテラス佐賀	令和5年度介護支援専門員実務者研修実習指導者研修	居宅	4	居宅主任 主任介護支援専門員
1/19	佐賀県社会福祉会 館	令和5年度佐賀県老人福祉施設研究発表会	特養 居宅 デイ	5	事務員 介護職員 調理員 介護支援専門員 生活相談員
1/26	ガーデンテラス佐賀	令和5年度佐賀県経営協セミナー後期 佐賀県社会福祉法人経営者協議会第2回総会	本部	1	理事長
1/26	西九州大学	令和5年度ソーシャルワーク実習報告会	特養	1	業務部長
1/31	オンライン	事務長事務職員連絡会・合同ブロック会議	特養	1	事務長
2/3	介護保険事務所	令和5年度居宅介護支援事業者研修会	居宅	1	居宅主任
2/6	佐賀メディカルセン タービル	令和5年度佐賀県介護支援専門員実務研修後期打合せ	居宅	1	居宅主任
2/6	嬉野市中央公民館	嬉野市多職種連携研修会	居宅	1	居宅主任
2/9	オンライン	令和5年度社会福祉法人役員等研修会	本部 特養	2	理事長 施設長
2/20	録画配信	介護現場での生産性の向上とDXの導入	特養	1	事務長
2/20	オンライン	令和5年度第4回通所介護部会	居宅	1	在宅部長
2/20	オンライン	令和5年度デイサービスセンター職員等研修会・ブロック会議	デイ 春風荘	2	生活相談員 春風荘主任
2/20	オンライン	成年後見制度に関するセミナー	特養	1	生活相談員
2/22	オンライン	令和5年度第4回生活相談員連絡会合同ブロック会議	特養 ケア	2	相談課主任 ケアハウス主任
2/24,25	さがサポートセンタ ーいきいき館	リフトリーダー養成研修	特養	1	介護職員
3/4	佐賀県社会福祉会 館	令和5年度 第4回危機管理委員会	特養	1	施設部長
3/4	ホテルグランデはが くれ	合同企業説明会	特養	2	総務部長 事務員
3/15	オンライン	令和5年度 明るい職場づくり推進事業 「若手介護職員 WEB 交流会」	特養	1	介護職員

(8)

実習等の受け入れ

依頼先	人数	内容	期間	受入事業所
嬉野高等学校	2年 (3人)	介護福祉士養成研修	① 7/21～7/21 ② 8/7～8/9 ③ 8/16～8/18	デイサービスうれしの
	2年 (3人)	介護福祉士養成研修	① 6/28～7/10 ② 7/21～8/4	春風荘
	3年 (3人)	介護福祉士養成研修	① 7/26～8/4	特養
	1年 (3名)	介護福祉士養成研修	① 12/5～12/8 2名 ② 12/25～12/28 1名 ③ 2/19 2名 ④ 2/28～3/1 1名 ⑤ 3/13～3/15 1名	特養
嬉野医療センター付 属看護学校	3年 37人	地域・在宅看護論 実習Ⅲ	① 6/15～10/20 (14グループ)	居宅
	2年 16人	地域・在宅看護論 実習Ⅱ	① 10/10～10/13 ② 10/17～10/20 ③ 11/6～11/9 (3グループ)	特養
佐賀県介護保険事 業連合会	1人	介護支援専門員実務 者研修実習	① 2/2 ② 2/13～14	居宅
佐賀女子短期大学	1人	教員免許要件に該当 する実習	① 9/11～9/15	デイサービスうれしの
西九州大学短期大 学	2人	栄養士実習	① 11/6～11/10	栄養課
西九州大学	1人	ソーシャルワーク実習	① 9/18～10/20	・特養 ・居宅介護支援事業所 ・西部地域包括支援センタ ー
嬉野中学校	2人	職場体験	① 9/15	デイサービスうれしの

(8) ボランティア・訪問

新型コロナウイルス感染症予防のため、受け入れ中止

- ① 藤間流祝舞披露 (9/24 特養・ケアハウス敬老会)

(10) 介護事故、ヒヤリ・ハットの発生状況

(介護事故件数)

事業所	5年度	4年度	増減
特養	41	36	5
ショートステイ	12	20	-8
デイサービス	3	1	2
ケアハウス	6	2	4
春風荘	3	12	-9
湯っくらーと	0	2	-2
その他	0	0	0
合計	65	73	-8

(ヒヤリ・ハット件数)

事業所	5年度		4年度	増減
	職員起因			
特養 ショートステイ	195	70	162	33
デイサービス	18	8	27	-9
ケアハウス	7	1	0	7
春風荘	48	4	37	11
湯っくらーと	2	0	7	-5
その他	0	0	0	0
合計	270	83	233	37

(介護事故の内訳)

事故内容	特養		ショートステイ		デイサービス		ケアハウス		春風荘		湯っくらーと		合計	
	5年度	4年度	5年度	4年度	5年度	4年度	5年度	4年度	5年度	4年度	5年度	4年度	5年度	4年度
転倒・転落	8	8	4	6	0	0	5	2	2	6	0	2	19	22
裂傷・自傷	25	19	5	4	2	1	0	0	1	1	0	0	33	25
誤嚥・異食	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2
誤薬、薬に関するもの	3	6	3	9	1	0	1	0	0	3	0	0	8	18
その他	4	3	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	4	4
計	41	37	12	19	3	1	6	2	3	12	0	2	65	73

*事故による受診件数・・・ 11件（前年度比 3件増）

*保険者等報告件数・・・ 11件（前年度比 1件減）

【評価】

前年度と全体比較してヒヤリハット37件の増加、介護事故8件の減少となった。

また、保険者等報告11件はすべて特養、ショートステイ事業所からの報告で利用者、家族に対して損害保険等の対応を行った。

高齢者特有の身体状態や認知症症状による行動に対して安全対策を講じてサービス提供しているが、検証等により危険予測、対応対策の周知、徹底が不十分であることが事故要因として考えられる。委員会、各事業所で安全対策の啓発、対策を講じ、再発防止と安全なケアの提供に努めていきたい。

(11) 労働災害の状況

	内容	対策・対応
1	施設ホールで食後テーブル拭きをしているときに、テーブル下に敷いてあるビニールシート（食べこぼしによる汚染防止）に足が引っ掛かり右足指が反った状態になった。右足指骨折にて4週間の安静療養診断。	ビニールシートの段差はほぼないが、転倒の危険性も考え、食事後はビニールシートを外すように対策を行った。
2	デイサービス利用者の迎え時、車椅子移乗後に後方から肢位調整を行なったときに、腰痛発症。腰椎圧迫骨折診断にて約1ヶ月入院治療。	事故発生時の状況を再現、検証を行い、原因と事故防止対策を検討した。 利用者の状態に合わせ、2人での介助や安全な場所での車椅子移乗の対策を行った。

(12) 苦情・意見の状況

【苦情解決委員会】

第1回 令和5年5月

第2回 令和5年11月

(苦情件数) 0件

(意見・要望件数) 5件

事業所	件数	申出人	内容	対応・結果
ケアハウス	1	家族	【職員の対応について】 1. 職員から物品の販売や食品の提供があった。 2. 職員の言葉かけがきつい	家族への謝罪 1. 入居者からの希望があっても、職員個人の販売や提供は禁止であることの指導と再認識を行った。 2. 言葉かけに対する指導を行うとともに、職員間で注意を行うことを申し合わせる。
ケアハウス	1	利用者	【サービスの内容について】 1. 朝食時の配茶の時間が遅い 2. 食堂ホールの活用について 3. 食堂の席替えについて	サービス内容についての意見については検討し、対応方法を入居者へ説明を行った。

春風荘	1	医師	【サービスの内容について】 入浴介助(洗身)方法について、高齢者の皮膚は薄いため手や手袋でやさしく洗うようにとの指示あり。	洗身方法の検討及び保湿を重視した入浴備品の検討を行った。
居宅	1	匿名	【業務車両の速度について】 施設の車両が走行しているが、スピードの出しすぎではないかとの電話があった。	出張のため業務車両で走行していた。前方車両について運転していたため、速度を気にしていなかったが、法定速度を超えて走行した認識はなかった。 業務車両は常に見られている意識をもつこと、また全職員への安全運転の注意喚起を行った。
特養	1	利用者	【職員の対応について】 介助時の言葉かけが適切ではなかった。思いやりを持って対応してほしい。	本人への謝罪。 状況確認行うとともに言葉かけや対応についての指導を行った。また会議で該当課の職員への報告及び指導と指示を行った。